













3月22日(木) 晴れ

今日はいよいよ帰る日だ。ハプニングはあったけれど、大きなトラブルもなくメンバー全員無事帰国できるのは無上の喜び。7時過ぎに起床、YHの朝食を食べる。帰りの準備もすべて完了、9時頃に迎えのシャトルバスが来る。サンフランシスコ空港に10時過ぎに着く。荷物を預け、セキュリティチェックを受け、出国審査を経てゲートに向かう。搭乗時間までは自由行動、免税店でお土産を買ったり、自由に過ごす。12時10分発、成田着は15時25分に到着、エアポート成田で品川まで行き、新幹線ひかりで岐阜羽島に着き無事帰宅した。愛犬レオが元気に出迎えてくれた。全員無事に帰国できたことを団長はじめ、平均年齢68.9歳の同行者20名の方々に、改めてお礼申し上げます。

終り



青春の詩 サムエル・エルマン

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。

薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、
たくましい意志、豊かな想像力、炎える情熱をさす。

青春とは人生の深い泉の清新さを言う。

青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険を意味する。

ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。

年を重ねただけで人は老いない。

理想を失うときに初めて老いる。

歳月は皮膚にしわを増すが、情熱を失えば心はしぼむ。

苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い精神は芥にある。

60歳であろうと16歳であろうと

人の胸には、驚異に魅かれる心、

おさな児のような未知への探究心、

人生への興味の歓喜がある。

君にも吾にも見えざる駆遣が心にある。

人から神から美・希望・よろこび・勇氣・力の靈感を受ける限り、君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、

悲歎の氷にとざされるとき、20歳であろうと人は老いる。

頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、

80歳であろうと人は青春に してやむ。